

Press release

2011年12月5日

シュワルツコフ ヘンケル株式会社 代表取締役社長交代について

ドイツの化学・消費財メーカー ヘンケルAG & Co. KGaA (本社：ドイツ・デュッセルドルフ、以下ヘンケル社) の日本法人であり、接着技術事業とヘアケア事業を展開するヘンケルジャパン株式会社 (本社：東京都品川区、以下ヘンケルジャパン) は2012年1月1日をもって、子会社であるシュワルツコフ ヘンケル株式会社 代表取締役社長の交代を行うことをお知らせ致します。

役員人事 (2012年1月1日付)

退任

シュワルツコフ ヘンケル株式会社

氏名：松浦 徹 (まつうら とおる)

[現役職：シュワルツコフ ヘンケル株式会社 代表取締役社長]

就任

シュワルツコフ ヘンケル株式会社 代表取締役社長

氏名：河野 崇生 (かわの たかお)

[現役職：シュワルツコフ ヘンケル株式会社 副社長]

シュワルツコフ ヘンケルは昨年度、新ヘアカテゴリーに「サイオス」で参入を果たし、今年度はさらにサイオス・スタイリングシリーズも投入致しました。これまでに順調に拡販を納めているフレッシュライトやパオン ディオーサなどの製品群とともに、より充実した製品ラインアップを揃え、事業はますます活気を増しております。

“ 社長就任にあたり身の引き締まる思いですが、ひと言 ご挨拶申し上げます。シュワルツコフ ヘンケルは近年新しく革新的なアイデアで躍進して参りました。引き続き市場の伸びを上回る高成長を遂げるには中長期的な視点で市場潮流を見極め、その先に行く一手を打つことが必要だと思っています。重要なのはその"スピード"と言えるでしょう。チームの機動力を活かし、ヘンケル社の企業ビジョン「ブランドとテクノロジーのグローバルリーダー」実現のため、2012年は体制を新たにさらに飛躍の年を目指して参ります。 - 河野崇生 ”

今後シュワルツコフ ヘンケル株式会社ではさらなる成長の加速を鑑み、より斬新な戦略の策定と実行に重点をおいて参ります。

また、ヘンケルグループはこの新しい組織によるコスメティックスビジネスの更なる発展と成長を期待しております。

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー & ホームケア、コスメティックス/トイレットペーパー、アドヒーズ/接着剤/接着技術の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil (ペアジール)、Schwarzkopf (シュワルツコフ)、Loctite (ロックタイト) などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約 48,000 人、2010 年度の売上高は 150 億 9 千 2 百万ユーロ、調整後の営業利益は 18 億 6 千 2 百万ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数 DAX のリストに入っており、「フォーチュン世界 500 社」にランクされています。

【本件に関するお問い合わせ】

ヘンケルジャパン株式会社 広報室 青木 雪絵

TEL: 045-758-1707 (青木) / 045-758-1846 (広報室) FAX: 045-758-1851

広報代行: 共同PR株式会社

第3業務局 山路聡司、菅原由芳 TEL: 03-3571-5236 FAX: 03-3574-9364